

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院泌尿器科に、後天性嚢胞腎関連腎細胞癌（透析関連腎癌）で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

後天性嚢胞腎関連腎細胞癌における p16 および MET 遺伝子の増減およびその遺伝子産物との臨床病理学的相関に関する後ろ向き観察研究 の発見

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学人体病理学講座 講師（職名） 小島 史好（氏名）

3. 研究の目的

後天性嚢胞腎関連腎細胞癌の予後予測因子はいまだ確立されたものがなく、その発見は患者さんの治療計画の立案のために大変望まれているところです。淡明細胞腎細胞癌では 9 番染色体短腕の欠失があると予後が悪いと報告されており、後天性嚢胞腎関連腎細胞癌においても予後との相関があるか検討します。また MET 異常のある乳頭状腎細胞癌に対して MET を標的とした治療の有効性が報告されてきており、後天性嚢胞腎関連腎細胞癌においても、MET 異常の有無を検討し、将来的な分子標的治療の適応の有無の可能性を検討します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

後天性嚢胞腎関連腎細胞癌（透析関連腎癌）の患者さんで、平成 10 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までの期間中に、腎癌切除術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、透析歴(期間)、腎癌の治療歴、最終受診時の転帰、摘出した腎癌の病理学的事項に関する情報です。

(3) 方法

摘出した後天性嚢胞腎関連腎細胞癌のパラフィンブロックから切片を作製し、p16, c-MET の免疫染色および p16, MET の FISH (fluorescence in situ hybridization) を施行します。

本研究は日本赤十字社和歌山医療センター、京都第一赤十字病院との他施設共同研究です。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。

研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学講座 担当医師 小島 史好

TEL : 073-441-0635 FAX : 073-444-5777

E-mail : fumiyosh@wakayama-med.ac.jp